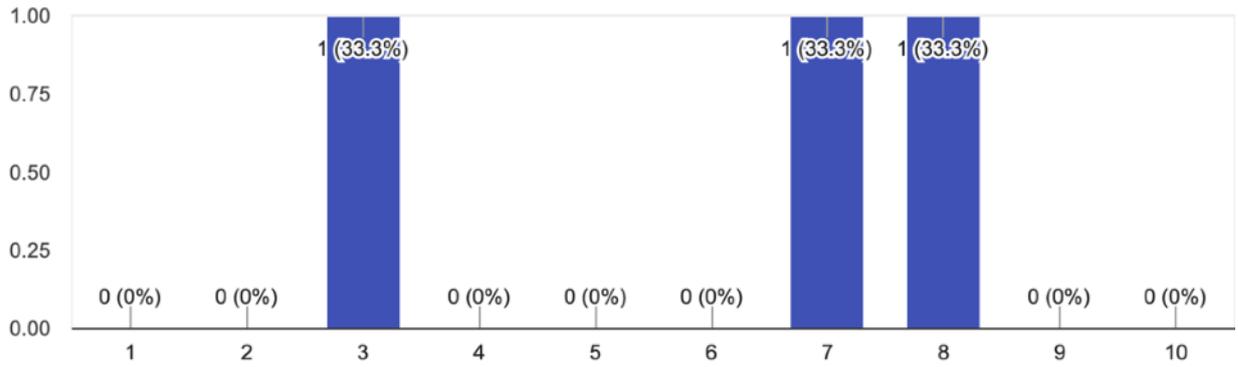


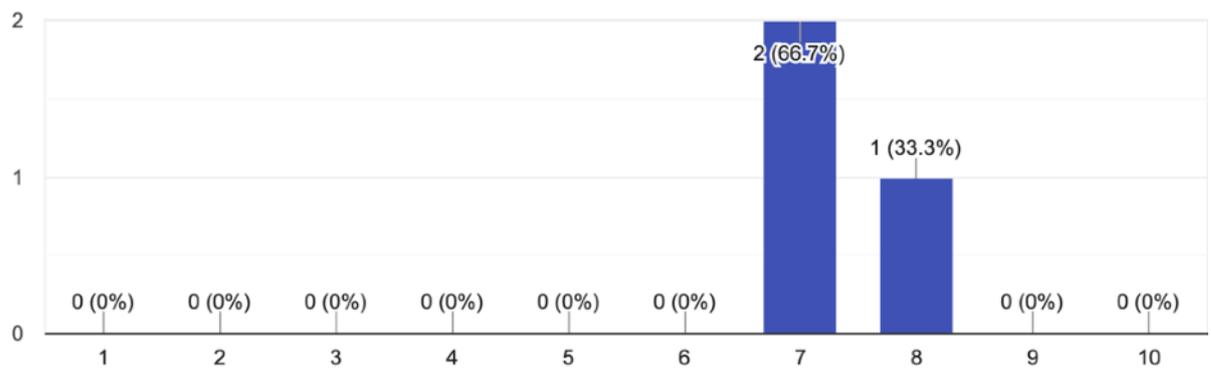
読みやすさ

3件の回答



情景描写

3件の回答



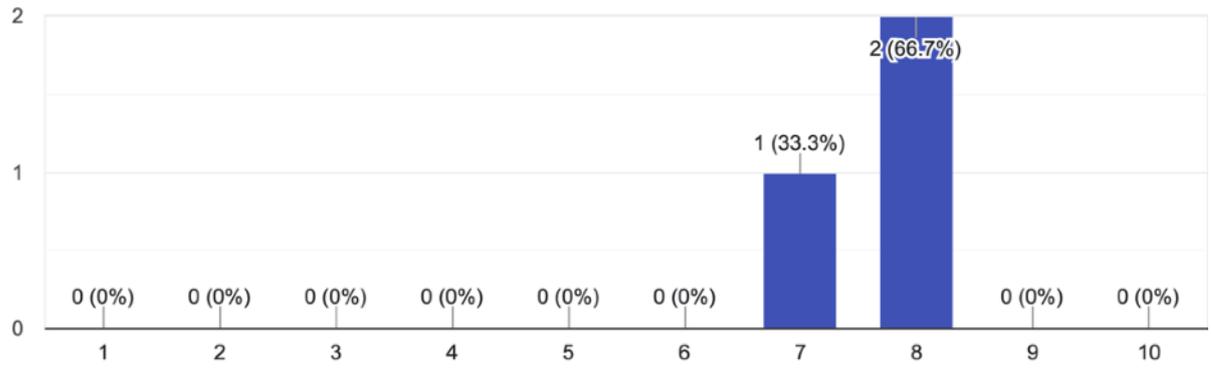
この小説の元のタイトル案は「少女の燭台」「死神...いずれが適していると思うか、教えてください。

3件の回答



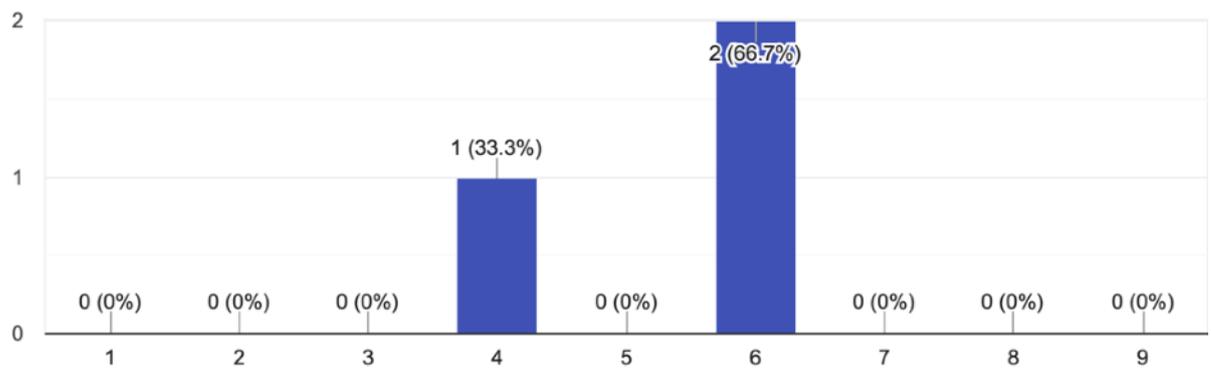
全体のまとめ

3件の回答



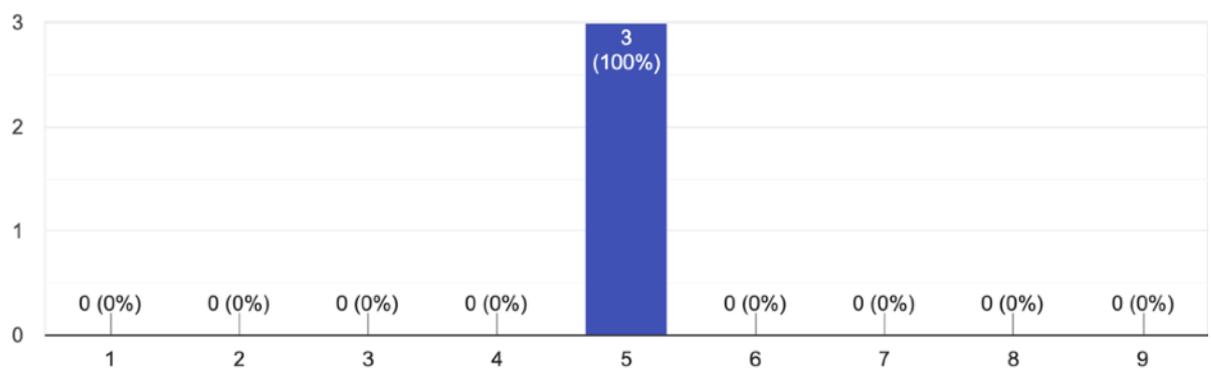
シーンごとの分量の配分

3件の回答



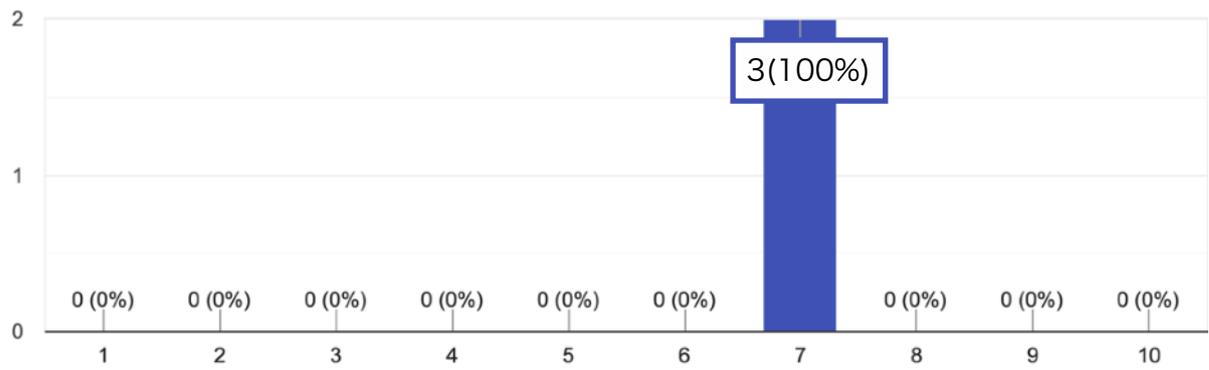
要素の詰め込み具合

3件の回答



全体を通して10段階で評価すると

2件の回答



-回答漏れがあったため、編集しています

評価アンケート

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

誤字・誤用等ありましたらご報告を...

発生を伴う大きなため息→「発声」でしょうか？

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

良かった点を教えてください。

- ・【掃除が足りないだの、ちゃんとメシを食えだの、寝ろだの】はわがままじゃないんだよな～～！ ちゃんとしなさいよって気遣ってくれる美少女はあまりにも贅沢。
- ・【歯が溶けそうなくらい甘い】→誇張表現良いですね。
- ・【書こうと思わないから書けないだけよ】→耳が痛い。でも金髪美少女の言うことに間違いはない。
- ・【雑誌の片隅につまらない事実と現実を書くことしかできない】→語り手の仕事が端的に言い表された表現で刺さりました。
- ・コロナと関わる瞬間が映画のように描写されているところ、どんな映像なのか目に浮かぶようですし、どんな映画として扱われるのかも具体的かつ現実的に書かれていてイメージしやすいです。語り手のシニカルな思考も引き出されています。
- ・【博士の愛した数式】！！ 小川洋子！！ 小川洋子はいいぞ！！ 一番好きな作家です！ 映画は観ていないんですが、原作と違って博士の身なりが小綺麗になっていたのが気になってしまった.....。
- ・【流行に押し負けて愛を描き始めるのかと思うと、とめどなく反吐が出そうな気分になった】→いやこれほんとそう.....。話題に上がるのは恋愛ものばかりでね.....。
- ・【鈴の鳴るような声が聞こえて】からの場面は十年前の回想ですかね、これが少女の仕事でしょうか。自ら人生を終えようとしている人を死なせないようにする。コロナがこうして定期的にやって来ることが、語り手を生に繋ぎ止めているように見えます。わがままで元気なお嬢様、ポップコーンの弾ける音、甘いチョコレートの匂い、この時間が現実と向き合うための魔法のような。命を刈り取る死神と対極の、命の蠟燭を引き伸ばす少女。これも何かの映画のオマージュだったり.....？
- ・語り手としては現状の生活が【クソ映画】であり、コロナとの時間が【たった一瞬の美しいカット】で。一度拾った命を使って【もう少し、もう少しだけ、文章を書いてみようか】と上を向く気力が見えません。【愛なんてものが全然わからなくても、誰かが信じてくれる祈り】は、大衆受けしなくてもいいから誰かしらに届いてほしい自分の書く言葉。最後に希望が見える作品でした。

よくなかった、批判点などを教えてください。

- ・おそらく映画の内容を引き合いに出しているであろう部分がちらほらあるのですが、分からないところについては完全に置いてけぼり状態なので.....よくある表現で言えば「作者の自慰行為を見せられている」。そういう記述を含む作品が生まれるのは決して悪いことではないけれど、見せられても困惑する、という感じです。
- ・【最後の最後で人の心を揺さぶるために嫌悪感をあおるような表現】ってなんだろうと考えてみたのですが、具体的なイメージが湧きませんでした。もう少し親切に書き込んでほしいと思いました。あまり映画を観ていないのが悪いのか.....。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>						

読みやすさについて、特に特殊な文体に対する「読みやすさ」について評価・批評があれば教えてください。

割とくだけた印象を受けましたが、作品のポップでシニカルな雰囲気には合っていると思いました。

情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

情景に終始したストーリーとなっていますが、もっとここを増やした方がいい、減らした方がいいなどがあれば教えてください。

「情景に終始した」と言われると「そう.....??」という感じですが、地の文が淡々と人物達の行動を描写するものではなく、映像的であることが重視され、語り手の心情も細かく書かれていて、読み応えがありました。

一方で、コロンとの会話は、仕事に関する内容以外（主に映画についてのやり取り）は無くてもストーリーは成立する上に、読んでいて楽しい気の利いた軽妙なやり取りというわけでもないので、そこで無駄な足踏みをさせられている感触がありました。

この小説の元のタイトル案は「少女の燭台」「死神を待ちながら」でした。現行のタイトルと比べいずれが適していると思うか、教えてください。

- コロンを待ちながら
- 少女の燭台
- 死神を待ちながら
- その他: _____

全体のまとめ

1 (まとめがない) ~10 (まとめがある)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

シーンごとの分量の配分

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				

要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

文章ルールについて

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケート

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

誤字・誤用等ありましたらご報告を...

- ・「あー、と発生を伴う大きなため息が出る」→「発声」？
- ・「そう言うやつは嫌がられてドン引きされる。」→この流れだと「言う」は実際声に出しているものではないので「いう」かも？と思いました。

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）をお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

良かった点を教えてください。

快活な台詞から始まる序盤は、スピード感があって、映画が始まる前のワクワクにも通じる高揚感がありました。

また、小説がまるごと一作映画かのように表現している箇所（「カットが変わる」「大切なカットシーン」等）も実験的で面白かったです。

・「単純なファンタジーに仕込まれたほんのひとさじの毒気にさえ吐き気がするくらいあって」
→音のリズムがとても好きです。

よくなかった、批判点などを教えてください。

序盤はスピード感がよく、終盤は逆に重たさによってしっかり話が終わる感じがあります。それと比較すると、中盤が少し弱い感じを受けました。とはいえ、短編はこの緩急のバランス感が一番難しいところだとは思いますが。

緩急やメリハリをつけるためには、「序盤で謎を提示しておく」や「話がどこに向かっているのかを分かりやすくしておく」のが効果的かなと思います（もちろん他にも対処策はあると思います）。

この作品でいうと、「コロンとはどんな存在なのか？」をキーにしつつ、最終的に謎明かしとともに主人公の自死に関する過去を書くのがよいのかなと思います。

そのため、前半にもう少しコロンの謎めいた感じを追加して、後半で回収するような形式にするなど、構造を分かりやすくことでぐっと読みやすくなるように思いました。

最序盤のスピード感は素敵な持ち味だと思いますので、「彼女と同じだ。同じ映画ばかりをみているのだ。」あたりまではこのままとし、そこから「十年前。俺は、～」までの間を整理することでぐっとよくなるような気がします。（十年前の回想始まって以後は、過去の話が重たく、またラストに向かっているため話が分かりやすくなっています。）

以下は好みレベルの文章面の話です。

・現在、そこに山のようなポップコーン。
→「現在、そこにあるのは山のようなポップコーン。」のほうが文意が通りやすいかなと思いました（好みレベルの話ですが）。あるいは「そこに入っているのは」「それに入っているのは」？

・本当にこれが『正しさ』なのか。
→「本当にこれが『正しい』のか。」のほうが文意が通りやすいような気がします。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						

読みやすさについて、特に特殊な文体に対する「読みやすさ」について評価・批評があれば教えてください。

情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						

情景に終始したストーリーとなっていますが、もっとここを増やした方がいい、減らした方がいいなどがあれば教えてください。

本作は地の文と会話文とがある程度まとまって交互に書かれる話だと思いますが、地の文について、「もしひとつハプニングが起きるとすればコロンになにかしら突つかれることだろう。」から「広告会社の策略でとりあえずアマプラに登録され、端に追いやられ、いずれ忘れ去られる物語。」のあたりまでが前後含めかなり長くなっているように思います。

その前に「謎」を配置するか、あるいは物語のゴール感を出しておくか、なにかしらでメリハリをつけると読みやすくなると思います。(単純に量を削減するか、あるいは会話文を間に入れる対処でも効果がありそうです)

この小説の元のタイトル案は「少女の燭台」「死神を待ちながら」でした。現行のタイトルと比べいずれが適していると思うか、教えてください。

コロンを待ちながら

少女の燭台

死神を待ちながら

その他:

全体のまとめ

1 (まとめがない) ~10 (まとめがある)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

シーンごとの分量の配分

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1 2 3 4 5 6 7 8 9

要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

文章ルールについて

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

評価アンケート

お名前 *

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ *

OK

だめ

その他:

誤字・誤用等ありましたらご報告を...

『ついさっきフライパンで大量生産を強要されたのは激甘のハニーバター味。』
バター"ー"が誤字かなと思います。ダッシュになっているような...？
.....

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）をお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

良かった点を教えてください。

『十年前。俺は、博士の愛した数式をビデオ屋で借りてきて見たあと、なんとなく死のうと思った。あれは神映画だ。マジで泣いたし、原作も名著だった。原作ありきの映画にしてはしっかり原作再現してたのもよかったと思う。〜』の段落

メインの要素のうちの一つなのだと思いますが、好きです。マジョリティの濁流に飲まれたくないのに、飲まれてしまいそうな...

言わんとしていることがしっかり表現できていて、伝わっていると思います。

『しかし、いかにも面倒そうな表情で、彼女はそれをぐいっとむりやり引き伸ばした。俺の蠟燭が、他のどれよりも、ものすごく長くなってしまったのが見えた。』

物理の強引感すごい。強い。キャラが好き！

表現の語呂感？がテンポ良くていいなと思いました。

『この世は労働と資本で出来上がっているように見えて、その底に必ず愛がある。土台を引きずり、皮をむいたら、その内になにが満ちているというのか、誰にもわからないというのに。』

『そうして、フライパンでぱちぱち弾けるポップコーンと、湯煎されたチョコレートの甘い香りを浴びていたら、まあなんというか、こんなチマチマしたこと考えて、それははじけたコーンのひとさじにもかなわない愚劣かつありきたりな苦痛で、それならもうなんでもいっか、と思う。』など

よくなかった、批判点などを教えてください。

鉤括弧から始まる作品、今回だけでなく、竜の目の他の回でも指摘していますが、私は否定派です。物語の始まりのは難しいので、便利なだけに頼ってしまうと、逃げかねて少し思ってしまう。他の人はここまでじゃないと思うけど、鉤括弧から始まる作品は定義が明確ゆえカウント、認識しやすいというものがあると思う。

『5年ぐらい前、顔も名前もよく覚えてない親戚に、数合わせのため引きずられてディズニーランドへ行った際、押し付けられたポップコーンケース。現在、そこに山のようなポップコーン。ついさっきフライパンで大量生産を強要されたのは激甘のハニーバター味。』

一文目が説明が複雑で、現在目の前にあるポップコーン、過去に作ったハニーバター味と時系列も前後しているので、わかりにくかったです。

ディズニーランドのポップコーンケースに自作のポップコーンを入れて

『5年ぐらい前、顔も名前もよく覚えてない親戚に、数合わせのため引きずられてディズニーランドへ行った際、押し付けられたポップコーンケース。』

この中に必要な情報はどれだけあるのでしょうか？

原文近くで、重複表現や私の主観で表現を削ったりしてみました。一例としてもしよかったですら参考にしてください。

数合わせで行ったディズニーランドで、押し付けられた思い入れのないポップコーンケース。

今、ここに山のように詰められているのは、映画鑑賞のためだけに作らさせられた激甘のハニーバター味。

『同時に、自分の足元に広がる液体からぶっ倒れそうな気分の悪い臭いが消え、そこにはただの水でびしょぬれのおっさんと、美少女が取り残されたのだ。』

ああ、もしかしたら、あれは名シーンだったかもしれない。

「ねえちょっと！ 今サイコーのシーンなんだから集中して見なさいよ、この動き.....本当にティム・バートンはすごいわ、これ見終わったらチャリチョコ見ましょ!』

この時系列？時間軸がわかりにくかったです。

過去、独白（主人公の心の声）、現在だと思うのですが、明確化のために改行してもいいかもです。

*映画の描写ピンときてない4連続

『最後の最後で人の心を揺さぶるために嫌悪感をあおるような表現が流行するようになってから』私だけかもしれませんが、具体例が思いつかないです。(ピンときてない顔)

『明日も俺は同じ映画を見る。』

コロンは同じ映画ばかりを見ているというのは事実でわかるのですが、これは主人公もコロンと一緒に同じ映画を見ることを言っているのでしょうか？それとも、一人でも同じ映画を見ているということでしょうか？日常の比喻なのでしょう？映画見てないんじゃないかな？映画館には全然行けていない→映画を見ていないのでは？

『シビアな映画を毎日毎日見続ける俺にとって』

日常の比喻？でも、『俺がため息をつく姿がアップになる』等、俺が主演の映画では？俺が主演の映画を見続ける俺ってこと？

『俺は、雑誌の片隅につまらない事実と現実を書くことしかできない。』

ここで、主人公の仕事は映画評論家ではないと気づく。

読みやすさ

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
-

読みやすさについて、特に特殊な文体に対する「読みやすさ」について評価・批評があれば教えてください。

全体的に読みやすく問題ないと思うのですが、部分部分でわからない箇所がありました。

情景描写

- 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
-

情景に終始したストーリーとなっていますが、もっとここを増やした方がいい、減らした方がいいなどがあれば教えてください。

主人公が実際に映画を見ているのか、文中の「映画」はどれが比喩に使われていて、どれがそうじゃないのかが分かりづかったです。

この小説の元のタイトル案は「少女の燭台」「死神を待ちながら」でした。現行のタイトルと比べいずれが適していると思うか、教えてください。

- コロンを待ちながら
- 少女の燭台
- 死神を待ちながら
- その他:

全体のまとめ

1 (まとめがない) ~10 (まとめがある)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						

シーンごとの分量の配分

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				

要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

文章ルールについて

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

「コロナを待ちながら」という題ですが、記号の：(コロン)の深読みがあるのかと一瞬思ってしまった。深読みしすぎですね...汗

『「もしかしたら今年は、12月末ぐらいまでは頑張れるかも」

「マジで？ 今年もクリスマス頃には帰っちゃうのかと思ってた」

「いったん爆発的に増えたもんだから、管轄ちょっと減らされてたんだけどね」

「そーいやそういう話してたな」

「最近、思いとどまる人が増えてきたから。ちょっとずつ減ってきてるの。だから、思ったよりエネルギーが余ってるみたい」』

コロナが今年長く一緒にいれることはわかるのですが、なぜエネルギーが余ったら長くいれるのかがわからなかったです。

謎のままでもいいと思うのですが、ご報告まで。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム